

# 神経内科

## 1. 概要

2017年のスタッフは、長年にわたり科を指導された空野謙次部長が定年退職、後任に岩井が当たるという変動要因があったが、空野先生には非常勤医として支えていただき、何とか過ごせた形となった。昨年同様常勤医5人で診療に当たった。原敬史先生が開業のため8月までで退職され、以後は4人となった。関連医局である名古屋大学神経内科から、外来代務医師1人増員の応援を得られた。

総入院患者数は年々増加し、2017年は昨年より更に100人余り増加、911人（前年795人）であった。また、常に定床をオーバーしており、多くの病棟に入院患者が分散したため、回診に時間を要した。ほか、今年度の主なトピックは、以下の如くである。

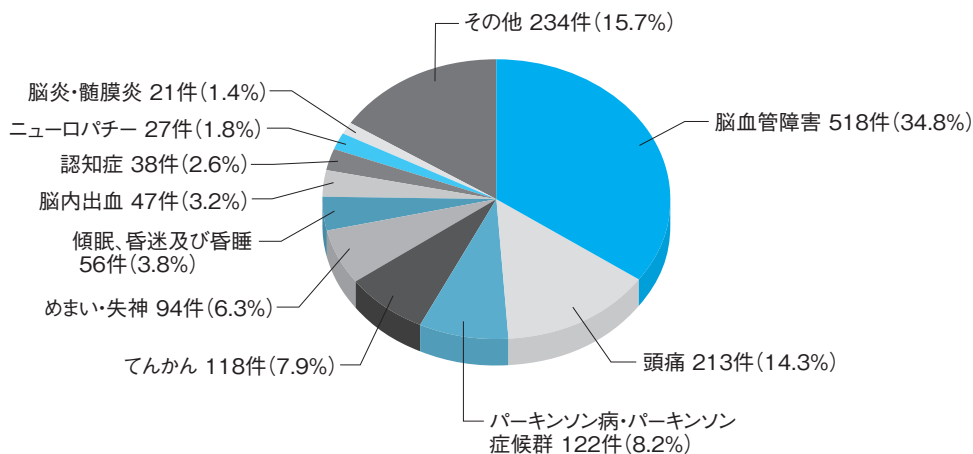
- ① 以前にも増して、高齢者のてんかんが増えている。
- ② アトピー性脊髄炎、視神経脊髄炎、脊髄血管障害等に伴う両下肢運動障害も目立った。
- ③ 慢性炎症性脱髄性多発神経炎の患者で、 $\gamma$ グロブリン維持療法の反復入院も増えた。
- ④ 家族背景や社会的背景の難しい患者が更に増加傾向、安定後の療養先について患者や家族に早期説明をしたり、患者総合支援センターのお世話になったりしている。

外来の年間受診者総数は8,039人で昨年よりも800人程減少、ただしその内初診患者数は1,186人と微増した。MCR体制はあるが、紹介状持参での予約外患者もまだ目立ち、可能な範囲で対応している。

（部長 岩井 克成）

## 2. 新規登録疾患

総数：1,488件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
脳血管障害	脳動脈の血栓症による脳梗塞	216	I633
	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	70	I634
頭痛	頭痛	158	R51
	緊張性頭痛	28	G442
パーキンソン病・パーキンソン症候群	パーキンソン病	115	G20
てんかん	てんかん, 詳細不明	45	G409
	その他のてんかん	44	G408
めまい・失神	めまい感及びよろめき感	78	R42
	失神及び虚脱	16	R55
傾眠, 昏迷及び昏睡	昏睡, 詳細不明	56	R402
脳内出血	(大脳) 半球の脳内出血, 皮質下	22	I610
	脳内出血, 詳細不明	16	I619
認知症	アルツハイマー病, 詳細不明	24	G309
ニューロパチー	多発(性)ニューロパチー, 詳細不明	12	G629
脳炎・髄膜炎	脳炎, 脊髄炎及び脳脊髄炎, 詳細不明	9	G049

### 3. 活動報告

#### (1) 患者状況

年間外来患者数	12,474人	年間外来新患者数	1,545人
年間入院患者数	17,694人	年間入院新患者数	915人

#### (2) 神経難病6疾患

	疾患名	件数(件)
1	パーキンソン病・パーキンソン症候群	119
2	多系統萎縮症	8
3	脊髄小脳変性症	7
4	筋萎縮性側索硬化症・球脊髄性筋萎縮症	9
5	重症筋無力症	15
6	多発性硬化症	10
	計	168

## 学会発表（医局）

<神経内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	悪性腫瘍を伴う脳梗塞患者の臨床特徴	筆頭演者	大山 健	第42回日本脳卒中学会 学術集会	大阪市	2017/3/17	
2	抗アセチルコリンレセプター抗体が陽性であった慢性炎症性脱髄性多発神経炎の1例	筆頭演者	大山 健	第28回日本末梢神経学 会学術集会	名古屋市	2017/8/26	
3	当院におけるギランバレー症候群の臨床的特徴	筆頭演者	渡邊 麻希	第29回日本神経免疫学 会学術集会	札幌市	2017/10/7	
4	TNF- $\alpha$ 阻害薬投与中に発症したサルコイドーシスの1例	筆頭演者	大山 健	第35回日本神経治療学 会総会	さいたま市	2017/11/18	

## 研究会発表（医局）

<神経内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	認知症・症例提示	筆頭演者	岩井 克成	認知症画像診断研究会	豊橋市	2017/11/13	